



平成29年11月7日

市長記者会見資料

平成29年度かわさきマイスター認定者発表について

「かわさきマイスター」については、今年度、18名の応募があり、かわさきマイスター選考委員会での審議の結果、5名を新たに認定します。

「かわさきマイスター」は、極めて優れた技術・技能で本市産業の発展や市民の生活の向上に御尽力いただいているとともに、後継者や若手の指導にも熱心な現役の職人の方々に市内最高峰の匠として贈る称号で、平成9年度から認定しています。

* マイスターとは、ドイツ語で「名人」「親方」を意味します。

1 平成29年度かわさきマイスター認定者

- (1) 青木 保男 氏 (ウインドウ・フィルム施工)
- (2) 北村 正治 氏 (工業彫刻・精密刻印・金型彫刻)
- (3) 越畑 好夫 氏 (造園・土木工事業)
- (4) 穴戸 哉夫 氏 (洋菓子製造業)
- (5) 藤巻 今朝男 氏 (貴金属装身具製作)

※今年度認定者の方々を加えると、71職種96名の方々が認定者となります。

2 配付資料

- (1) 平成29年度かわさきマイスター認定者 資料1
- (2) 平成29年度かわさきマイスター認定者技能紹介 資料2

【担当】 川崎市経済労働局労働雇用部技能奨励担当 西留・鈴木

電 話 044-200-2242

FAX 044-200-3598

E-mail 28roudou@city.kawasaki.jp

平成 29 年度かわさきマイスター認定者

(敬称略・五十音順)

氏名	年齢	職種	従事年数	居住地	勤務先・役職・住所	推薦人
青木 保男	69	ウインドウ・フィルム施工	39	高津区野川	株式会社総商 代表取締役会長 (高津区野川)	日本ウインドウ・フィルム 工業会 理事長 甘田 利明
北村 正治	77	工業彫刻・ 精密刻印・ 金型彫刻	59	横浜市青葉区 美しが丘	北村彫刻 株式会社 代表取締役 (幸区古市場)	吉田和裁所 吉田 茂 (かわさきマイスター)
越畑 好夫	66	造園・ 土木工事業	48	麻生区黒川	株式会社 相光園 代表取締役 (麻生区黒川)	川崎市造園建設業協同組合 理事長 山田 義朝
宍戸 哉夫	46	洋菓子 製造業	26	麻生区下麻生	有限会社 イルフェジュール 代表取締役 オーナーシェフ (麻生区下麻生)	川崎信用金庫 柿生支店 金子 勇太
藤巻 今朝男	64	貴金属 装身具 製作	38	高津区久本	株式会社 Volume 代表取締役会長 (高津区久本)	神奈川貴金属技能士会 会長 吉澤 崇幸

※ かわさきマイスター認定式は平成 29 年 11 月 8 日 (水) に実施します。

- ・時間 14 時 00 分～15 時 30 分
- ・場所 川崎市立労働会館 (サンピアンかわさき) 大ホール
(川崎市川崎区富士見 2-5-2)

※ 年齢及び従事年数は認定日 (平成 29 年 11 月 8 日) を基準としています。

1 青木 保男（あおき やすお）さん

- (1) 生年月日 昭和23年3月17日（満69歳）
- (2) 職 種 ウィンドウ・フィルム施工
- (3) 従事年数 39年
- (4) 株式会社 総商（高津区野川）代表取締役会長
- (5) 在住 高津区野川
- (6) 選考結果 認定



青木さんは、ウィンドウ・フィルムの施工技術を独自で考案・開発した技術者の方です。

昭和56年、当時海外メーカーの3Mが寡占していたウィンドウ・フィルムを輸入する株式会社総商（そうしょう）を知人から譲り受け、ウィンドウ・フィルムに携わることとなりました。

昭和49年に起こった三菱重工爆破事件からガラスの危険性を目の当たりにし、フィルムの重要性を認識しました。ウィンドウ・フィルムはガラスの飛散防止以外にも様々な用途がありますが、日本においてはまだ物珍しく、フィルムの普及・販売に奔走します。施工技術も規格化されておらず、定まった施工方法もない中、青木さん自らが施工方法の開発を手探り状態の中で始め、御自身の努力と技術で完成させました。フィルムを貼る際に使用する刷毛（はけ）とその使い方、フィルムと接着するガラス面に家庭用食器洗剤を塗り滑らかにフィルムを貼りつける施工方法など青木さんの開発したものが、現在でも使われています。

さらに青木さんは、この技術を標準化し国内に広めようと、国家資格の設立を働きかけ、平成14年に国家資格に認定された後、試験官として多くの技能士を誕生させました。

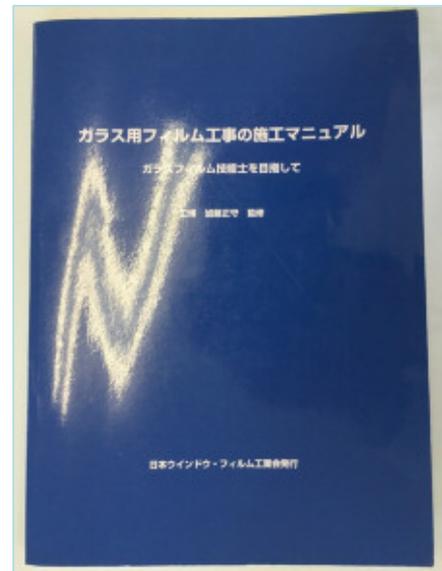
その後、ウィンドウ・フィルムの国内メーカーも徐々に育ち、日本ウィンドウ・フィルム工業会という団体が設立されるまでに業界も成長してきましたが、その工業会の中でも青木さんは絶大な信頼を得ており、今回、同工業会からマイスターに推薦されました。

ウィンドウ・フィルムはガラス破片の散乱を防げるので、建築物において東日本大震災など大規模地震の二次災害の防止のためや、窓ガラスが割れにくくなることから防犯対策として、ビルの電磁波対策として、遮熱効果からエネルギー効率の向上やエコ対策としてなど様々な面で注目をされています。

また、自動車用ガラスにもUVカット・断熱効果をもたらすフィルムの施工を行います。自動車においては、透過率が70%以上であることを証明する「可視光線透過率測定証」を発行することになりました。青木さんは、こうしたフィルムの重要性を広める啓蒙活動を国内だけでなく、海外にも展開しています。

青木さんの持つ高い技術・技能は、子息を始め、従業員の方に着実に伝えられ続けています。

国内外でのウィンドウ・フィルムの普及啓発、業界全体の施工技術の向上、自らの卓越した技術・技能の継承など、業界の発展と後継者育成のため幅広く活動を行っているマイスターです。



<勤務先等>

株式会社 総商			
住所	川崎市高津区野川 3 8 9 5		
電話	0 4 4 - 7 8 8 - 8 5 2 1	F A X	0 4 4 - 7 8 8 - 6 4 4 0
HP	http://www.soushow.co.jp/		

2 北村 正治（きたむら まさはる）さん

- (1) 生年月日 昭和15年1月14日（満77歳）
- (2) 職 種 工業用精密刻印・金型彫刻
- (3) 従事年数 59年
- (4) 北村彫刻株式会社（幸区古市場）代表取締役
- (5) 在住 横浜市青葉区美しが丘
- (6) 選考結果 認定



北村さんは、工業用の精密刻印や金型彫刻を製作する技術者です。

北村さんは、父親が創業した「北村彫刻」に、昭和33年に就職し、父親から手彫りの刻印等の彫刻技術を習いました。手彫り彫刻は、元々は刀の鏝に微細な模様などを施す技術で、カメラレンズの鏡胴などの工業製品に文字やマークを彫刻します。

昭和48年父親の逝去により急遽代表になった時、これからは機械化をしなければ生き残れないと、当時業界では先駆けとなる放電加工機を導入して技術転換をし、手彫りの表現を機械加工で再現しました。工業彫刻の多くは文字やマークを凹形に彫りますが、凸形に浮かび上がらせる加工が得意で、微細な曲面などを三次元加工するのが特徴です。

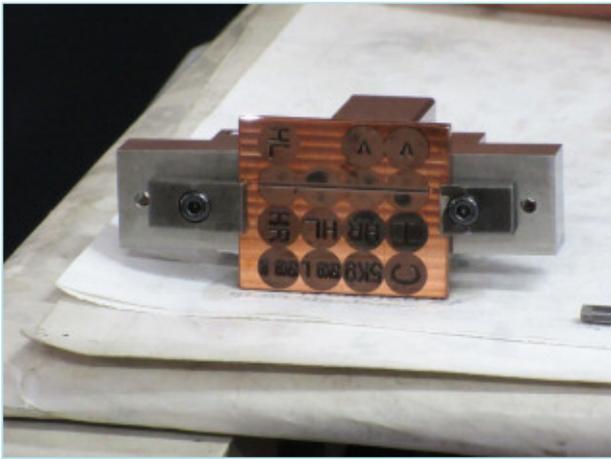
主力の工業用精密刻印は、メーカーにとって製品のブランドを表示するために不可欠な会社等のマークを打刻するものです。刻印に用いる素材は、超硬合金など堅牢なもので、加工するには放電加工技術が必要です。銅やグラファイト（炭素）を精密に加工した電極を形彫放電加工機に素材と合わせてセットして放電作用により転写する技術です。高水準の技術を持った企業は全国的に少なく、取引先はトヨタやホンダなど自動車メーカーが多いのですが、広島に本拠地のあるマツダからも受注しています。

その後も、NC旋盤のほか、会計ソフトなどの事務用ソフトウェアの導入を図るなど、業務全般にわたり機械化・電算化に取り組み、作業効率を向上させています。現在でも三次元加工のために3Dソフトを導入するなど、先進的な姿勢を変えていません。

現在の川崎市の工場には、以前から操業を続けてきた大田区の工場が手狭になったため8年前に引っ越してきました。営業に注力しなくとも取引先からの紹介などで受注は絶えず、全国に400社を超える取引先があります。子息や配偶者を含めて10人もの従業員を抱え、営業や技術ともに後継者として育てています。

北村さん自身について特筆すべきは、77歳という高齢にもかかわらず、仕事の後、週の半分はプールに通い、その泳ぎはマスターズ水泳大会で入賞するほどの腕前で、歳を感じさせない隆々とした体躯の持ち主です。

若々しい体と進取の精神で、常に前向きに仕事に取り組むマイスターです。



<勤務先等>

北村彫刻 株式会社			
住所	川崎市幸区古市場 1-51-4		
電話	044-276-6771	FAX	044-276-6772
HP	http://www.kitamura-c.co.jp		

3 越畑 好夫（こしはた よしお）さん

- (1) 生年月日 昭和26年3月16日（満66歳）
- (2) 職 種 造園 土木工事業
- (3) 従事年数 48年
- (4) 株式会社 相光園（麻生区黒川）代表取締役
- (5) 在住 麻生区黒川
- (6) 選考結果 認定



越畑さんは、顧客のイメージに沿いながら、単なる庭造りを超えて、周辺の自然環境を活かしつつ、建物と調和した景観を作り上げる優れたプランナーであり技能士です。

幼少期から緑豊かな麻生区黒川で過ごし、自然溢れる環境の中で感性を磨き、相原高校造園科に進学、卒業後第一園芸に入社し、造園技術の習得に励みました。その後1年間、デザインスクールに通い、自己研鑽を積み、昭和50年に独立して相光園を創業します。造園技術の資格は、昭和54年に二級の土木施工管理士、昭和63年に一級造園施工管理士、平成5年に一級造園技能士を取得しています。

個人宅やレストランなどには、伝統的なものから、豊富な草花の知識を生かして現代風の庭園まで対応し、和風・洋風の造園プランを提案しています。公園など公共施設に対しても高い土木技術を用いて、正確で安全な園路、石積、石組などを施工、設計要求以上のものを提供しています。技術は幅広く、多種多様な施設に対応ができ、多くの顧客から信頼を得ています。

また、若い頃から京都を回り、寺院の園庭について知識を深めました。大きな敷地でも無理なく回遊できるよう庭や階段をバランス良く配置し、建築物と調和のとれたものを完成させています。

人工的な作業による造園でありながら、越畑さんの手にかかると、あたかも元々の地形の上に、自然に草木や岩があったように見え、訪れた人々を感動させています。

相光園には8人の従業員の方がおりますが、越畑さんはご自身のもつ技術を伝授するとともに、高木の剪定が増えた近年の造園作業で必要性が高まっている安全保護具を利用した木登り技術「ツリークライミング」の技術習得にも若い人と一緒に挑んでいます。

従業員の一人名である長男は川崎市が今年度創設した「若手技術者表彰」を受賞するなど、後継者育成にも成果を上げています。

地元小学生を対象にした「自然観察会」への協力や、小・中学生の職業体験も積極的に受け入れる越畑さんは、地元の自然と次代を担う子ども達をこよなく愛しているマイスターです。



<勤務先等>

株式会社 相光園			
住所	川崎市麻生区黒川570		
電話	044-987-1386	FAX	044-987-1304

4 宍戸 哉夫（ししど ちかお）さん

- (1) 生年月日 昭和46年8月28日（満46歳）
- (2) 職 種 洋菓子製造業
- (3) 従事年数 26年
- (4) 有限会社 イルフェジュール（麻生区下麻生）オーナーシェフ
- (5) 在住 麻生区下麻生
- (6) 選考結果 認定



宍戸さんは、人気の「蒸しショコラ」で知られる洋菓子店のオーナーシェフです。

宍戸さんは大学までラグビー部で活躍されていましたが、将来の職業を父親と同じ洋菓子作りに定め、父親の洋菓子店で修業を始めたのは20歳のときからでした。

大学卒業後はさらに修業の場を広げ、洋菓子店だけでなく「銀座レカン」等のレストランなどでフランス料理のシェフの技術も学び、店舗運営に関わるなど見聞を広げながら、自己研鑽に励み、その後、日本洋菓子協会によるジャパングーキショーといった全国大会での銀賞受賞など受賞暦を重ねました。

平成16年に父親の店を引き継ぎ、新たに、フランス語で「新しい日の始まり」という意味の「イルフェジュール」という店名に変え、洋菓子店のオーナーシェフの道を歩き始めます。

その後、フランス料理で学んだ技術を洋菓子に反映させ新たな菓子を次々に作り地元の人気店となっていきますが、それを決定付けたのが、現在でも看板商品である「蒸しショコラ」の製品化でした。蒸気で仕上げるという意味で、「蒸し」の用語を用いたわけですが。卵白とチョコレートを乳化するというこれまでにない新しい発想から誕生したこの製品は、大手菓子メーカーに真似をされそうになったことから、この業界では珍しい製造特許の取得に至りました。

さらに転機になったのが、立川駅構内にある「エキュート」への出店でした。これにより新たな顧客を獲得し、その後、新百合ヶ丘駅前、ラゾーナ川崎への出店など店舗数を増やしていきます。

衛生的な製造環境づくりには、相当の気を使い、設備にも多額の資金を使っています。小さな店舗・工場でありながらエアシャワー室を設けたり、社員を手作業から開放できる設備を導入したり、また、包丁などの調理器具も平置きすると汚れが付きやすいため、壁に磁石で付けるよう工夫しています。

製造スタッフは6名いて、全て若い女性です。料理の世界は、経験が浅いと仕事にかかる時間が長くなってしまいますので、宍戸さんはもっと自分を磨く時間を増やしてもらいたいと、「ワークライフバランス」の考えを積極的に取り入れ、余裕時間をとれるよう職場環境を整えています。そうした取組により、スタッフの中から洋菓子の大会で入賞する人も出てきました。

このほか、宍戸さんは、地元の小学校や商店街からの取材を受け、食育教室を開いて子ども達に食の大切さを教えるなど、広く洋菓子の技術・技能やシェフの心を次世代に継承することに心を砕くマイスターです。



<勤務先等>

有限会社 イルフェジュール			
住所	川崎市麻生区下麻生2-5-20		
電話	044-987-3120	FAX	044-281-7723
HP	http://www.ilfaitjour.com		

5 藤巻 今朝男（ふじまき けさお）さん

- (1) 生年月日 昭和28年6月11日（満64歳）
- (2) 職 種 貴金属装身具製作
- (3) 従事年数 38年
- (4) 株式会社 Volume（ヴォラーミ）（高津区久本）代表取締役会長
- (5) 在住 高津区久本
- (6) 選考結果 認定



藤巻さんは、独創的な貴金属装身具のデザイン・加工技能を持つ技能士です。

宝石など装身具の世界に入ったのは24歳の時で、当初、営業の仕事をしていましたが、お客様からのクレームを受けている内に、自分が満足できる宝石を売っていきたいと思い、独学で加工技術の勉強を始めました。「MIKIMOTO」といった有名な宝石店に勤めている人からアドバイスを受けるなど苦労をしながら独立し、昭和56年埼玉県戸田市に、前身の会社「ジュエリー工房フジマキ」を設立します。

その会社で顧客を増やし、「彩の国文化祭」において優秀賞を受賞するなど技術も更に高めてきました。その後より広い工房を求め、溝の口駅近くに新たな店舗を開設し、現在に至っています。

新たな工房兼店舗は、株式会社Volume（ヴォラーミ）として法人化し、社長には長女が就いています。Volume（ヴォラーミ）は、英語のvolume（ヴォリューム）のイタリア語読みとのことで、「巻物」の意味があることから、ご自身の姓である藤巻の「巻」に繋がるとして名付けたものです。

藤巻さんは、手作りにこだわり、独創的なデザインで独自の作品を製作しています。プラチナの枠に金の細いすかし模様を施す技術は、全日本貴金属技能士会連合会作品コンテストで最優秀賞を受賞するなど、高く評価されています。一級貴金属装身具製作技能士の資格は、平成16年に取得しました。

現在は業界全体でリフォーム（作り変え）の需要が多い状況ですが、藤巻さんはお客様の思い出のあるものを、全く独自のデザインで素晴らしい作品に生まれ変わらせることができ、こうしたニーズにおいても、お客様から大変喜ばれ、高い支持を得ています。店で顧客の要望を聴くと、同じフロアの工房で作業を見せながら即応できるようにしています。

後継者育成にも熱心で、工房には、若手従業員育成のために3人同時に作業ができるスペースを設けています。また、自身が所属する神奈川貴金属技能士会では役員を引き受け、組合活動を通じた若手の育成にも取り組んでいます。

このほか、小学校への訪問や、ものづくり体験イベントへ積極的に参加し、子ども達にもものづくりの楽しさを伝えており、お客様の夢や思い出を繊細に作品に吹き込む一方で、後継者の育成に真摯に向き合い技術の伝承にも積極的に取り組むマイスターです。



<勤務先等>

株式会社 Volume			
住所	川崎市高津区久本2-8-22		
電話	044-750-0078	FAX	044-750-0307
HP	http://www.volumejs.com		